

県産品販路拡大支援事業に係るフランス訪問について

1 要 旨

広島県産「日本酒」と「かき」のフランスへの販路拡大及びブランド化を図るため、フランスを訪問し、パリ市で行われる日本産酒類の品評会において、現地メディア、品評会の審査員などに対して、県産「日本酒」及び「かき」のPRを行う。

2 現状・背景

(1) 日本酒

平成26年度から、意欲ある県内酒蔵と連携し、食の街として知られているフランスをターゲットに広島県産の日本酒のブランド価値向上を目的に次の取組を行っている。

- 販売チャネルの確立

ワインショップやレストランに販路を持つフランスの酒類及び食材卸売業者との販売チャネルの確立

- エデュケーション

広島県産日本酒アンバサダーなどによるマスタークラスの実施

- 最終消費者の掘り起こし

試飲展示会「Salon du Sake」、国際ガストロノミー展等への出展

- ブランド化の取組

フランス現地に営業代理店（レップ）を設置し通年での営業活動の実施

(2) かき

令和3年度から、国内生産量の6割を占める「かき」を重点品目と定め、海外への販路拡大支援を実施している。フランスにおいては、EUへの輸出可能な冷凍殻付「かき」を対象にトップセールスや国際ガストロノミー展への出展を行っている。

3 訪問の概要

(1) 派遣者

知事、県内投資促進課職員

(2) 実施内容

- 日本産酒類の品評会でのプレゼンテーションの実施

- パリ市副市長との会談

- パリ国際大学都市日本館、フランス進出の県内企業等への訪問

(3) 派遣日程

令和7年5月23日（金）から5月27日（火）まで

4 事業目標

日本酒：フランスへの輸出本数 15,300 本

か き：海外市場における新規商流（輸入業者等）の確保 4 件

5 予算（単県）

8,381 千円（業務委託料、出張旅費等）

6 その他（フランスにおけるその他の取組）

（1）継続的な取組

協議会を通じて、フランス現地に営業代理店（レップ）を設置するとともに、酒類卸会社 2 社に県産日本酒スタッフを各 1 名ずつ配置し、小売店やレストランへの県産日本酒の販促活動を実施。

（2）展示会などへの出展

展示会等の名称	内 容
デュガ社内覧会 (Dugas Club Expart)	○日 時：令和 7 年 9 月（予定） ○内 容：ワインショップ等の酒類専門小売店やスーパー等に幅広い販路を持つ酒類専門卸売業「デュガ社」の内覧会。本県は、「デュガ社」と「フランスにおける広島県産日本酒のブランド戦略策定に関する商業協力に関する予備的合意書」を締結しており、日本酒については、広島県のみ出展。
ワイン即売会 (Salon des vin Dijon)	○日 時：令和 7 年 10 月（予定） ○内 容：ディジョンで開催されるワイン生産者組合のワイン即売会。ブルゴーニュ・ジュラ地方連盟との連携により、令和 4 年度から広島県産日本酒を出品（日本からは広島県のみ）している。

（3）広島県産日本酒アンバサダー等によるセミナーなどの実施

レストランシェフやソムリエ、バイヤー等のプロを対象とした日本酒セミナー等を実施予定。